

平成21年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	都内専門学校の教育カリキュラムを活用した職業教育体験プログラム		
法人名	社団法人東京都専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 小林光俊	担当者 連絡先	斎藤正宏 Tel.03-3378-9601

1. 事業の概要等

○経緯・背景

東京都内の専門学校の多くは、自校の環境・設備を活用して職業教育に関する体験的プログラムを実施してきたが、今回のプログラムはそうした各々の学校の取り組みを組織的に編成し、受講者である高校生に、参加しやすく効果的な職業体験プログラムを提供することを目的に実施した。

○特徴

各講座の実施にあたっては、講義、見学、実習の組み合わせが基本となるが、職種が多岐にわたるため、講座によりその配分は異なるものとなった。職場見学などは移動時間や現場への影響などを考慮し可能なものについては積極的に取り入れるよう配慮した。

講座の中心となるのは体験実習であり、その職業に対して具体的なイメージを体験できるようカリキュラムを編成し、その職種に就くにあたっての厳しさなども率直に解説し、誤りのない進路選択の一助となるよう配慮した。

○事業の実施

事業の実施にあたっては、各専門学校は蓄積したノウハウを利用し、職業体験プログラムを作成し実施運営を行った。東京都専修学校各種学校協会としては東京都高等学校進路指導協議会などを通じ、広く体験プログラムへの理解の促進をはかり、各高校に対し作成したパンフレットを直接配布するなどの広報活動を行った。

また、高校の教育現場の理解促進のため、各専門学校担当者及び協会事務局により高等学校を直接訪問し、パンフレット等を利用し体験学習について解説を行い、体験プログラムへの理解促進あるいは高校側の体験プログラムへの率直な要望・意見などの聴取を行った。

○事業の概要

開設講座数 : 29講座（実施講座17講座）

参加専修学校数 : 11校（講習実施校6校）

参加高等学校数 : 133校（体験プログラム解説実施校）

受講者数 : 285名

（内訳 高1生－53人、高2生－142人、高3生－72人、その他－18人）

## 2. 事業の実施に関する項目

### ①職業体験講座の実施

	講座名	講座概要	日程	受講者数
<b>【東京福祉専門学校】</b>				
1	やってみよう楽しい介護(夏)	介護予防体操、高齢者疑似体験介護福祉の、基本技術の体験授業	7/25、8/5・9	17
2	やってみよう楽しい介護(秋)	同上	11/1	1
3	こどもの人気者になれる保育士講座	子どもの障害について知る、子どもの心をつかむ(おもちゃ作り)、保育士のピアノ	7/25、8/5・9	5
4	作業療法(リハビリ)の楽しさを体験してみよう(夏)	障害者リハビリ体験、楽しい作業療法(七宝焼き、うちわのマーキング)	7/25、8/5・9	2
5	〃 (秋)	同上	11/1	1
<b>【東京ベルエポック製菓専門学校】</b>				
6	製菓実習～爽やか！夏のスイーツ作り～	フルーツゼリー、マジパン細工、ロールケーキ、杏仁スイーツ作り	8/22・23・24	18
7	パティシエ・シェフ体験	フルーツタルト、ソースオムライス、フッシュドノエル制作体験	10/31、11/1、12/19・20	7
<b>【東京ホスピタリティーツーリズム専門学校】</b>				
8	観光産業の仕事	サービス介助士、プライダール・エアライン仕事バーチャル体験等	8/24・25	1
9	旅行業入門	旅行業の基礎、パッケージツアー企画体験、旅行カウンター体験	8/24・25	2
10	ホテル業入門	ホテル業基礎、仕事バーチャル体験(宿泊・料飲サービス)	8/24・25	3
11	鉄道業入門	鉄道業の基礎(運賃、乗車券システム)時刻表作成、時刻表検定に挑戦	8/24・25	5
12	観光業界の仕事体験&バーチャルツアー	観光業界の仕事体験&バーチャルツアー	12/20	46
<b>【ヤマザキ動物専門学校】</b>				
13	動物分野職業体験(夏)	動物看護師の職業理解と体験 動物美容師の職業理解と体験 ドッグトレーナーの職業理解と体験	8/19・20・21	70
14	動物分野職業体験(秋)	同上	11/21・28、12/23	99
<b>【日本医歯薬専門学校】</b>				
15	歯科衛生士3大業務体験講座(夏)	予防処置、保健指導、診療補助(歯のクリーニング、磨き方、歯科材料)体験	8/1・6・19・22	4
16	歯科衛生士3大業務体験講座(秋)	同上	11/21・22・23	2
<b>【東京医薬専門学校】</b>				
17	薬と病院に関わる仕事ガイダンス	新しい資格、医薬品の登録販売者の仕事を中心に医療に関する仕事を体験	11/1、23	2

## 注記事項

プログラムは夏休み中心の夏のプログラムと秋冬のプログラムの2回に分けて行い、パンフレットの作成・周知等も2回に分けて行った。また、秋冬プログラムは夏の参加状況等を参考に、1日に体験する時数を長くし期間を短くするなどの工夫も行った。

## ②その他

今回の職業体験プログラム実施にあたり、東京都高等学校進路指導協議会などの協力・助言をうけながら、受講できるすべての講座を一覧できるパンフレットを作成。都内の高校に配布し、進路未定の生徒等キャリア教育に取り組む生徒が、幅広く体験学習の選択ができるようプログラムを用意した。

また、高等学校の教員に対し専門学校における職業体験プログラムの内容・意義を解説し、キャリア教育における体験学習の有効性について理解促進を図るため、専門学校の教員が高等学校においてパンフレット等の資料を用いながら、教員に対し直接、解説を行い、また、高校現場の教員が専門学校における職業教育に何を求めるか等の調査も行った。

## 3. 事業の成果・評価に関する項目

### ①目的・重点事項の達成状況・評価について

#### ○受講者へのアンケート調査結果

##### 満足度調査結果

: 大変満足 (59.7%) ・ 満足 (36.3%) ・ 普通 (3.2%) ・ 不満 (0.7%)  
・ 大変不満 (0%)

#### ○高校教員へのアンケート調査結果

##### 満足度調査結果

: 大変満足 (3.8%) ・ 満足 (33.5%) ・ 普通 (59.3%) ・ 不満 (3.4%)  
・ 大変不満 (0%)

調査結果については2月9日に開催の実施委員会で分析・検討を行った。

今回、プログラムとして11校29講座を用意したが、結果として、実施できたのは6校17講座、参加者数は285名であり、参加者においては予定数の82%の参加となった。

受講者のアンケート結果についての満足度は概ね良好であり、実際にプログラムに参加した受講生にとって、関連施設などとの連携も深く学校自身の施設等も充実した専門学校における体験学習は、職業内容を実際に体感し、その意義や理解を深めることに大きな役割を果たすことを確認できた。

専門学校の講座担当者に対するアンケートにおいても、参加者の受講態度について90%以上がまじめであると回答しており、受講後の職業に対する意識の変化についても65%が全体に感じられたとの回答であり、この結果については、受講者と同様に本プログラムの有効性が指導する専門学校側からも確認できるものであった。

高校教員へのアンケート結果については、高校における総合学習への活用など積極的に評価する回答もあったが、専門学校における体験学習の有効性は認めつつも、様々な取り組みがなされるようになった高校の教育現場において、専門学校との連携による職業体験

を具体的な学習に取り組んで行くためには、より周到な準備が必要なことを示すものとなった。

今回、本プログラムを作成する上で留意した点は、このプログラムが単なる学校の体験授業ではなく、職業及びその職業を身につけるには何が必要なかを体験するプログラムであり、講座実施にあたっては、職業経験の豊富な教員等の指導による職業体験学習としてプログラムを実施した。結果として、実際の職業現場での厳しさなども業界の生の声としてそのまま伝えることになり、そのことが受講者からは貴重な体験として好印象をもたれた一因になったと考えられる。

## ②次年度以降における課題・展開

プログラムに幅広い選択肢を持たせ、多くの受講者の希望に合った体験学習ができるよう企画したが、結果的に受講状況に大きな偏りが出る結果となった。また、現在の高校生にとって、夏休み期間は様々な夏季講習の期間として設定されるなど、時間的な制約もあり、より短期間で体験できるものに集中がみられた。

対応策としては、様々なものが考えられるが、周知期間、日程の設定、なじみのない職業等に対する具体的なイメージの解説など、きめ細かな工夫が必要であることが判明した。

また、高校3年生では既に学校選択の段階となるが、本講座のような学校体験ではなく、職業体験が主眼となった学習が、進路選択にあたって、より前段階である高1・高2生にとって、自分の適性を体験する有効な手段となることをアンケート結果より確認することができた。早い段階に、実際に自分の目で確認し、手を使って体験してみることが重要であり、職業観を明確にする大きな手段になると言える。

この意味で、このような専門学校による体験学習は、中学生・小学生にも対象が広がっていくことが望ましく、そのための調査・研究にも取り組みたいと考える。